

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
子ども家庭支援の心理学	2	前期	講義	2	森吉 里奈

○ 授業の到達目標

1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。
2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。
3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。
4. 子ども及び保護者の精神保健とその課題について、臨床心理学的に理解する。

○ 授業の概要

生涯発達の視点から人間の一生を概観する。また、家族の一生について学ぶ。子どもをもつ家族の多様性について触れ、その支援の実際について学ぶ。教科書に沿って講義は行うが、適宜、配付資料を用いる。

※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。

○ 授業計画

第1回 乳幼児期の発達

【事前学修】 シラバスを見て、授業の概要等を確認する。キーワード：生涯発達、自尊感情

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第2回 学童期の発達

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：ライフサイクル、ギャングエイジ、第二次性徴

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第3回 青年期の発達

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：ジェンダー、アイデンティティ、進路・職業選択

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第4回 成人期・老年期の発達

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：キャリアサイクル、認知症

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第5回 子育ての経験と親としての育ち① 「母性」「父性」から「養護性」へ

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：男女雇用機会均等法

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第6回 子育ての経験と親としての育ち② 産後うつ等

【事前学修】 本時の調べ学習をする。キーワード：孤独、オキシトシン、聴くこと

【事後学修】 授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第7回 親子関係・家族関係の理解(ライフコースと仕事・子育て)

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：親としての発達、アタッチメント、システム理論

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第8回 多様な家庭とその理解① ひとり親家庭

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ひとり親家庭、ステップファミリー

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第9回 多様な家庭とその理解② 貧困等

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：貧困、DV

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第10回 特別な配慮を要する家庭① ヤングケアラー

【事前学修】調べ学習をする。キーワード：ヤングケアラー

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第11回 特別な配慮を要する家庭② 障害のある子の保護者・外国籍家庭の支援

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害のある子の保護者・外国籍家庭の支援

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第12回 子どもの生活・生育環境とその影響① ネット依存

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：遺伝と環境、デジタル・メディア(ネット依存)

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第13回 子どもの生活・生育環境とその影響② 愛着障害

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：虐待、トラウマ、愛着障害

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第14回 子どもの心の健康に関わる問題① ストレスとストレスマネジメント

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害受容、ICF、ストレスとストレスマネジメント

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第15回 子どもの心の健康に関わる問題② ストレス反応

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ストレス反応、心のケア、緘黙、チック

【事後学修】定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。

○ 教員の実務経験と授業の関連

心理職(臨床心理士・公認心理師)として、幅広い年齢の方々を対象に、発達相談・アセスメントやカウンセリングに携わってきた。その経験を活かしながら授業を展開実施する。

○ テキスト

「子ども家庭支援の心理学 演習ブック」 松本峰雄監修. ミネルヴァ書房

○ 参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版) 文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版) 厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版) 内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○ 学生に対する評価

定期試験80% レスポンスシート・受講態度20%